

## 令和4年度 田富中後期学校評価集計結果について

中央市立田富中学校  
校長 丹澤 博

はじめに

本校の保護者、生徒、教職員に対して令和4年12月に今年度2回目のアンケートを実施しました。アンケートの結果を考察し、自己評価を行いました。これを今年度の残りの教育活動及び来年度の学校経営に活かしていきたいと考えます。

### 1 アンケート項目について

アンケート項目は一昨年度見直しを行い、より学校教育目標や学校経営方針が反映されるようにしました。そこで項目は変更せず、今年度も年2回実施しました。1回目のアンケート等に基づいた前期学校評価は年度内に取り組みべき内容について確認し年度内に対応しています。今回は令和4年度の2回目になります。

### 2 評価について

「令和4年度 教職員・生徒・保護者の学校評価平均点」「学校評価計画」「今年度前期との比較」から考察しました。

#### (1) 評価平均点から考える「努力したい項目」「改善が必要な項目」

- \* 評価は4段階で実施し、平均値を2.5と考えました。  
また、評価平均点の数値を次のように判断しました。
  - 3.0以上「概ね良好」
  - 2.5以上3.0未満「努力したい項目」
  - 2.5未満「改善が必要な項目」

#### (2) 今年度の前期学校評価との比較

- \* 今年度の前期、昨年度の同期の質問内容との変化を見ました。  
すべての項目でプラス評価になりました。詳細については以下の項目の中で述べます。

#### (3) 肯定率から

- \* 評価を4(そう思う)と3(ややそう思う)と、肯定的評価をしている割合を肯定率として算出してみました。90%以上を、取り組みの成果が出ている項目、70%以下を、本校の課題として改善が必要な項目として判断しました。
  - 90%以上を三者(保護者・生徒・教職員)が評価している項目は、今年度前期より3項目増え、10項目になりました。
    - ・生徒は前向きに授業に取り組んでいる。
    - ・自分の考えをまとめたり、話し合ったり、発表する場面がある。
    - ・各教科において、目標に基づいて適正な評価・評定の実施に努めていると思う。
    - ・先生はわかりやすい授業を進める努力をしている。
    - ・道徳の授業等を通して、人権の尊重や思いやり、道徳的な判断力・実践力を育てている。
    - ・時間・あいさつ・言葉遣いなどに気をつけ、集団のルールを守り、仲間と協力して生活している。
    - ・行事や生徒会活動、部活動を通じて、心身ともに成長している。
    - ・生徒の健康管理や安全に配慮している。
    - ・正しく生きることについて考えたり、やさしい心・思いやりの心で生活している。
    - ・学校・学年・学級だよりなど、様々な便りの発行を充実させている。
  - 70%以下の評価となっている項目は三者(保護者・生徒・教職員)とも、ありませんでした。個々にみていくと、肯定率が83%の項目が最も低く、「学校は、生徒が将来の職業や進路について前向きに考えられるように、学年に応じたキャリア教育を行っていると思う」(保護者：今年度前期81%)でした。「キャリアパスポート」を活用し保護者との連携を図ったり、特別活動を要としたキャリア教育の全体像を理解いただけるよう努めた結果ではないかと考えていますが、未来を切り拓く力を育むために学校と家庭・地域が連携して取り組む必要性を強く感じています。

「キャリア教育」について（学校運営協議会において、再度確認したほうが良いという意見をいただき、令和3年度にお伝えした内容を「学校だより10月号」に再び掲載しました。）

さて、本アンケートの中で「キャリア教育」はわかりにくいというご意見をいただきました。概略を説明します。一般にキャリアと言えば、職業のこと？ 経歴のこと？ など、いろんなイメージがあります。ただ、学校で言う「キャリア」という言葉は、もっと広い意味で使います。「生徒の皆さんが体験するすべての事柄」「すべての経験」「役割を果たすこと」が、その生徒にとってのキャリアという考え方です。もちろん職場体験活動、進路学習もキャリア教育の中心ですが、毎日の授業で、学んだこと・発言したこと・間違えてしまったこと、学級で係を任されたこと、部活動でポジションを任されたこと、青雲祭に情熱を傾けたこと、ボランティア活動をしたことなどそのすべてがその人の生き方（必ずしも職業に限定したことはありません。）に関わります。この積み重ねの中で自分自身の価値や役割を学ぶことが「キャリア教育」です。

### 3 三分類（「概ね良好」「努力したい」「改善が必要」）した評価について

#### （1）総括

三者の総合平均点を比較すると、生徒の評価が最も高く、総合平均が 3.45 でした。（今年度前期より+0.05）教員の評価は 3.43（今年度前期より+0.14）、保護者の評価がやや低く、平均で 3.10（今年度前期より+0.02）でした。今年度前期、一昨年度と比較して上がっている項目が多く見られました。（昨年度同期とほぼ同じ数値）

『生徒は前向きに授業に取り組んでいると思う』『先生は、わかりやすい授業をすすめる努力をしていると思う』『授業では、自分の考えをまとめたり、話し合ったり、発表する場面がある』のいわゆる「主体的・対話的で深い学び」に関する3項目は、過去の数値と比較して大きく向上しました。これは、1学期中に全教科、指導主事経験者を招聘し個別指導を受けたことをはじめ、ポイントをしばって「授業づくり」に取り組んだ結果だと言えます。また、これに加え、『自分の考えをまとめたり、話し合ったり、発表する場面がある。』『各教科において、目標に基づいて適正な評価・評定の実施に努めていると思う。』も今回のアンケートで大きく向上しました。ただ、家庭学習に結びついていないのではないかと意見もあります。「振り返り」の充実や「家庭学習取組表」の有効活用が必要です。また、適正な評価という観点だけではなく、生徒のやる気に火をつけられるような日頃の評価を検討・充実させていく必要があります。これらのことについては、引き続き3学期の重点項目として取り組みます。一方、今年度前期、前年度と比較して、下がった項目は、ありませんでした。

#### （2）「概ね良好」（3.0以上）の評価について

- \* 保護者、生徒、教職員に共通する10項目すべて3.0以上の評価でした。
- ・生徒は前向きに授業に取り組んでいる
- ・先生はわかりやすい授業を進める努力をしている
- ・授業では、自分の考えをまとめたり、話し合ったり、発表する場面がある
- ・学校は、時間・あいさつ・言葉づかい等のルールやマナーの大切さ、よりよい生活習慣を指導している
- ・先生は、いろいろな問題を見逃さずに対応し、家庭との連絡を密にするとともに、生徒からの相談に適切に応じてくれる
- ・道徳の授業等を通して、人権の尊重や思いやり、道徳的な判断力・実践力を育てようとしている
- ・行事や生徒会活動、部活動を通して一人一人の生徒のよさを発揮させ、体を動かすことの楽しさや体力づくりの大切さを指導している
- ・生徒の健康管理や安全に配慮している
- ・学校行事や生徒会活動、部活動は生徒にとって充実した活動になっている
- ・学校・学年だよりや保健・図書だよりなどの発行を充実させ、PTAの会合でも、学校の取組を知らせている

#### （3）「努力したい」（2.5以上3.0未満）の評価について

三者がそろって2.5以上3.0未満の評価をした項目は、ありませんでした。さらに「授業と家庭学習の有機的な結びつき」「学びの大切さ」などを切り口に、生徒とともに「家庭学習の習慣化」「学力向上」について「家庭学習取組表」を柱に全校体制で取り組んでいきます。これからの時代を切り拓く子どもたちにとって、自ら課題を見つけ課題解決する力は必要不可欠です。家庭学習（疑問に感じたこと・わからなかったことを解決させるための家庭学習）は課題解決能力につながることを生徒・家庭と共有し、家庭学習の充実を模索していきたいと考えます。

#### （4）「改善が必要」（2.5未満）

今回のアンケート調査の結果で平均値以下の2.5未満の項目はありませんでした。

## 4 成果と課題について

### (1) 【成果】今年度後半（前期からの引き継ぎがほとんどであるが）に取り組んだ事への評価と考察

今年度、中央市の教育の基本「まごころ」、本校校訓「誠実」を踏まえ、『手厚い指導』を全職員で心がけています。

後期も前期に引き継ぎ、3つの柱として、①「主体的・対話的で深い学び」の高い次元での実現②家庭学習の習慣化③生徒の声に耳を傾け、生徒にとって「楽しい学校」の実現（悩み相談、いじめ等の早期発見・早期対応を含む）を設定しました。

①については、年度始めの取り組みが有効と考え、指導主事経験者を教科ごとに招聘し個別指導を受けました。柱には、「生徒の声（わからない・なぜ）に耳を傾ける」「考える時間を設定する（できるだけ考えを書かせる）」「めあてに対応するまとめ・振り返りの充実」の3つを設定し、この3つの柱を中心に前期（昨年度から継続）に引き継いだ取り組みをしました。授業中の私語などほとんどなく、教師の努力が生徒に伝わっている印象でした。これからの先行き不透明な社会を生き抜くためには、教師主導の詰込みではなく「自ら問いを立て、課題に向けて取り組むこと」が重要になります。そして、答えが不明確であっても最善解を求めようとする姿勢を毎回の授業の中で体験させたいと考えます。

②については、授業が充実してきている一方で、まだまだ家庭学習が十分ではないという声を保護者から聞きます（三者懇談等で）。「家庭学習取り組み表」の有効活用について、校内研究で「効果的な使用例」「家庭学習に結びつくコメント」などを収集し、再評価した上で、共有を図りましたが、まだまだ不十分なところがあります。3学期は「家庭学習取り組み表」の改良を中心に取り組んでいます。また、主体的・対話的で深い学びに向けての取り組みの中で、「振り返り」が課題ではないかと考え、2学期中も、次につながる「振り返り」について、授業の重点項目として取り組みました。校内研究でも「振り返り」について深く掘り下げて取り組んでいます。充実してきている教科も出てきているので教職員が互いに学びあう土壌を醸成したいと考えています。

③については、生徒理解のためにQU検査（年2回実施）や生活アンケート（毎月実施）等を行い、生徒の実態把握や学級集団について分析を行うことができました。生活アンケートが有効活用できるよう、アンケートから教員と生徒の対話が生まれるよう努めています。また、12月には精神科認定看護師である渡邊氏を招聘し、一人一人の生徒にとっての居場所づくり、不登校生徒を生まない学級づくりについて学びあいました。また、今年度も毎月第一月曜日に保護司・更生保護女性会の皆様・生徒会・教職員・PTA生徒指導部が協力して、あいさつ運動に取り組んでいます。「あいさつ」は子どもたちが将来社会に出てからもとても大切なものです。今後様々な機会を通じて、十分な定着を目指していきたいと思えます。

#### （その他）

感染症対策等を生徒とともに考え、自他の生命を守る態度の育成を日々行ってきました。今年度も、感染症のために行事が縮小したところもありましたが、何が大切であるかを検討し可能な限り、実施するようにしてきました。修学旅行は5/13・14に奈良・京都方面での実施にしました。短期間ながら学習した奈良・京都方面に行けたことについて生徒から喜びの声を聴くことができました。また、「青雲祭」も9/13・14の両日開催に戻しました。文化の部においてクラス合唱コンクールを実施し、高等学校の音楽科3名の講師の先生方からお褒めの言葉をいただきました。どの行事においても生徒たちの生き生きした表情を見ることができ実施して良かったという感想をもちました。残念ながら青雲祭のすべてを保護者には参観していただけませんでしたが、ホームページ上で動画配信しました。今後も、生徒にとってかけがえのない中学校生活であることを我々教職員が認識し、感染対策をする中で、生徒たちにできるだけ活動を提供できるよう、努めていきたいと考えています。

### (2) 来年度に重点化する取り組みについて

今年度を振り返った時、継続することは大変重要であると再認識しました。例えば、8時25分の取り組みですが数年前からの取り組みを徹底した成果として、落ち着いた学校になったというお褒めの言葉を多方面からいただいています。引き続き①「主体的・対話的で深い学び」の高い次元での実現②家庭学習の習慣化③生徒の声に耳を傾け、生徒にとって「楽しい学校」の実現（悩み相談、いじめ等の早期発見・早期対応を含む）の3つの柱に取り組めます。

3つの柱についての取り組みを継続していく中、特に、以下の項目についても重点的に取り組みます。

#### ①『学力向上・家庭学習の習慣化』

学力向上は学校教育の根幹であると考えます。全職員一丸となり、生徒・保護者とともに取り組みたいと考えています。

### <具体的な取組>

- ・「振り返り」を次の学習につなげる活動の充実  
振り返ることで、自ら、足りなかったこと・努力したいことを見出させ、それを家庭学習に結びつける。  
振り返りシートの工夫、改善
- ・「家庭学習取り組み表」を充実させ、個に応じた学習指導を推進する。  
[担当] 研究主任, 学年研究担当

校内研究を通して、生徒が自ら問いを発し、協働により、課題を解決していく「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業を行い、達成感や充実感の持てる授業実践を目指し研究を進めています。生徒が主体的に授業に取り組むことができるように、授業づくりに引き続き取り組んでいきたいと考えています。

生活アンケートにおいて家庭学習時間の調査を行ったところ、学習時間は二極化しており、家庭学習を継続している生徒が増加している反面、そうでない生徒の割合も増加しており、課題となっています。「家庭学習取り組み表」を通して、個別指導に努めていきます。

## ②『学級集団づくりの充実』

教師と生徒との信頼関係及び生徒相互のよりよい人間関係がすべての教育活動の土台となることを考え、学級集団づくり・学級経営の充実に取り組んでいます。今学期は学校行事があり、更に充実させるチャンスでもあります。

### <具体的な取組>

- ・各種検査の分析（Q U検査, 生活アンケート）を学級経営に生かす。
- ・各学級での自己肯定感・自己有用感を高める取り組み（ほめ言葉のシャワー・成長ノート・価値語等）の充実
- ・学校行事や部活動などを活用し、一人一人の生徒が活躍できる場面の設定
- ・道徳教育の推進  
[担当] 研究主任, 学年研究担当

## 5 その他

### (1) 三者からの回答数

・生徒	406名	回収数	356名	(回収率	87.7%)	理由：欠席・無回答
・保護者	406名	回収数	312名	(回答率	76.9%)	
・教職員	37名	回答数	37名	(回答率	100%)	

### (2) ご意見ご要望について

#### ○田富地区の回覧版に学校だよりをいれていただくことについて

昨年度、第一回目の学校運営協議会の時に、ある委員様から「学校だより」を回覧板にいれてもらい学校の取り組みを知っていただくのはどうか、という意見をいただきました。毎月発行する「学校だより」のすべてとなると個人情報的なことをはじめ支障があるかもしれないと考え、学期に1回ダイジェスト版という形で回覧板にはさんでいただくことにしました。2年が経過しようとしています、多くの方から評価していただきました。

#### ○感染症対策について

昨年度に引き続き今年度も、新型コロナウイルス感染症により、学校行事の変更や健康管理など、生徒または保護者の方にも多くのご負担をおかけしています。現在も文部科学省や県・市からの指導に基づいた衛生管理マニュアルや感染拡大防止対策により、生徒の学びを最大限保障しながら感染及び拡大のない学校のために努力を続けているところです。

登校時の健康チェックの強化、給食の黙食、授業における生徒間の距離と話し合い活動の工夫などの具体的な方策とともに、生徒自身の意識の高揚をうながしています。ICT機器の活用も準備を進め、授業に取り入れながらその可能性を模索しているところです。

### ○学校からの情報発信について

コロナ禍により、授業参観や行事、部活動など生徒の活動の様子を直接保護者が目にする機会が減っています。学校・学年・学級通信をはじめ、生徒指導・保健・図書からのお便りなど、学校や生徒の様子、今後の予定などをできるだけお伝えするようにしています。職員会議でも、できるだけこまめに学校の状況を家庭にお伝えすることを確認しました。現時点では動画配信は青雲祭だけになっていますが、個人情報に留意する中、学校日より写真や生徒の意見などを可能な限り発信したいと思います。また、緊急にお伝えしなくてはならない情報や予定変更等につきましては、学校メールを通じてお知らせをすることを予めご了承ください。

### ○学校評価について

一昨年度より評価の回数を年1回から2回に増やしました。年1回では課題に対しての改善が次年度になってしまうことから、その年度内によりよく改善するために変更を行いました。前期（7月）・後期（12月）で行っています。前期では評価しきれない質問項目もありますが、後期に判断をしていただければと考えています。今年度の学校運営協議会の中でも、年2回にしたことを評価していただきました。生徒・保護者・教職員の評価、第三者評価など、様々な方々のご意見を学校運営に反映させ、よりよい田富中学校の教育活動につなげていきたいと考えています。

### ○学校の決まり・生徒指導について

校則については、毎年見直しをしています。学校教育目標に沿いながら、その時代や状況に適したものになるよう検討していきます。また生徒自身にも決まりについて考えさせながら、生徒会を中心によりよい学校を作る力を養いたいと考えます。また校則だけではなく、学校生活においてお互いを尊重しながら、全校生徒が気持ちよく過ごすための環境づくりを、教職員と生徒がともに考え作り上げられるよう、より一層努力していきたいと考えています。

### ○家庭学習について

生徒の主体的な学びのひとつとして、昨年度より家庭での学習の充実を図っています。そのために帰りの会の時間を延長して、家庭に帰ってからの学習の計画づくりを行っています。それをもとに生徒は家庭学習に取り組み、その様子を自主学習ノートとして次の日に提出しています。担任や学年の教員で一人一人の自主学習ノートをチェックしながら、個々の評価やアドバイスを行えるように進めています。昨年度に比べ、かなりの生徒に定着しつつありますが、やり方や学習内容を含めより充実した活動となるために、きめ細かな指導が必要となります。校内研究会や教科部会などでより一層の研鑽を進めていきたいと考えています。

### （3）その他の取り組み

GIGAスクール構想の取り組みの中で、本校は一人一台端末（タブレット）の有効活用に取り組んできました。特に、コロナ感染症対策として話し合い活動・学びあいができない（制限された）状況の中、ジャムボードというアプリを使い、タブレットで生徒一人一人が打ち込んだ意見を、大型提示装置に映し出すことにより、生徒が多様な意見を知り、考えを深めることができたこと、など教職員が自主研修しながら、ICT教育を推進できました。

学級閉鎖などの臨時休業時にはオンライン授業ができる準備も完了しました。また、2学期後半から全学年でタブレットを持ち帰っての学習を始めています。

## 令和4年度 学校評価 全校生徒 後期（12月実施）

No	質問項目	平均				肯定率			
		1年	2年	3年	全校	1年	2年	3年	全校
1	私は、学校生活が楽しい	3.6	3.3	3.4	<b>3.4</b>	96%	84%	89%	<b>90%</b>
2	私は、授業や家庭学習において前向きに学習活動をしている	3.3	3.0	3.3	<b>3.2</b>	93%	74%	89%	<b>85%</b>
3	私は、提出物をしっかりと出している	3.3	3.2	3.4	<b>3.3</b>	85%	79%	89%	<b>84%</b>
4	先生は、わかりやすい授業をすすめる努力をしていると思う	3.8	3.5	3.6	<b>3.6</b>	99%	96%	99%	<b>98%</b>
5	授業では、自分の考えをまとめたり、話し合ったり、発表する場面がある	3.6	3.3	3.4	<b>3.4</b>	94%	88%	93%	<b>91%</b>
6	私は道徳の授業を通して、人の気持ちや考えを学び、成長することができた	3.7	3.3	3.6	<b>3.5</b>	98%	88%	96%	<b>94%</b>
7	私は、時間・あいさつ・言葉づかいなどに気をつけ、集団のルールを守り、仲間と協力して生活している	3.7	3.4	3.6	<b>3.5</b>	98%	92%	99%	<b>96%</b>
8	私は、行事や生徒会活動、部活動を通じて、心身ともに成長している	3.7	3.4	3.6	<b>3.5</b>	97%	87%	97%	<b>94%</b>
9	私は、健康管理に気をつけ、安全に学校生活を送ることができる	3.6	3.5	3.6	<b>3.5</b>	95%	92%	95%	<b>94%</b>
10	私は行事や生徒会活動、部活動などに積極的に取り組んでいる	3.6	3.5	3.5	<b>3.5</b>	96%	89%	97%	<b>94%</b>
11	私は、ボランティア活動や清掃活動に対して前向きに活動した	3.5	3.2	3.4	<b>3.4</b>	94%	85%	95%	<b>91%</b>
12	私は、正しく生きることについて考えたり、やさしい心・思いやりの心で生活している	3.6	3.4	3.5	<b>3.5</b>	98%	89%	94%	<b>94%</b>
13	私は、自分の将来や進路について考えることがある	3.4	3.1	3.5	<b>3.3</b>	84%	75%	93%	<b>84%</b>
14	先生は、生徒からの相談に適切に応じてくれていると思う	3.8	3.4	3.6	<b>3.6</b>	98%	93%	96%	<b>96%</b>
15	学校・学年・学級だよりなど、様々な便りの発行を充実させていると思う	3.8	3.5	3.7	<b>3.6</b>	98%	93%	99%	<b>97%</b>

令和4年度 学校評価 保護者 全校 後期（12月実施）

No	質問項目	平均				肯定率			
		1年	2年	3年	全校	1年	2年	3年	全校
1	生徒は、学校に楽しく通っていると思う	3.2	3.1	3.1	3.1	93%	87%	86%	89%
2	生徒は、前向きに授業に取り組んでいると思う	3.1	2.9	3.1	3.0	92%	82%	88%	87%
3	先生は、わかりやすい授業に努めていると思う	3.2	3.1	3.1	3.1	95%	91%	96%	94%
4	学校は、自分の考えをまとめたり、話し合ったり、発表する場面があると思う	3.0	3.1	3.0	3.1	88%	91%	90%	90%
5	学校は、各教科において、目標に基づいて適正な評価・評定の実施に努めていると思う	3.1	3.0	3.1	3.1	94%	91%	95%	93%
6	学校は、時間・あいさつ・言葉づかい等のルールやマナーの大切さ、より良い生活習慣を指導していると思う	3.2	3.0	3.0	3.1	96%	87%	90%	91%
7	学校行事や生徒会活動、部活動は生徒にとって充実した活動になっていると思う	3.3	3.2	3.2	3.2	92%	90%	93%	91%
8	学校は、生徒が将来の職業や進路について前向きに考えられるように、学年に応じたキャリア教育を行っていると思う	3.0	2.9	2.9	3.0	86%	82%	81%	83%
9	生徒は、お互いに協力し、行事や生徒会・委員会・学級活動などを活発に進めていると思う	3.2	3.1	3.1	3.1	95%	89%	94%	93%
10	学校は、道徳の授業等を通して、人権の尊重や思いやり、道徳的な判断力・実践力を育てようとしていると思う	3.1	3.0	3.1	3.0	93%	86%	91%	90%
11	学校は、行事や生徒会活動、部活動を通じて、一人ひとりの生徒の良さを発揮させ、体を動かすことの楽しさや体力づくりの大切さを指導していると思う	3.2	3.1	3.1	3.1	88%	88%	93%	90%
12	自分の子供は、相手の良いところを見て、仲間やお年寄りに思いやりの心を持つよう努力していると思う	3.1	3.1	3.2	3.1	89%	87%	98%	92%
13	学校は、生徒の健康管理や安全に配慮していると思う	3.1	3.1	3.2	3.1	88%	92%	94%	91%
14	先生はいろいろな問題を見逃さずに対応し、家庭との連絡を密にするとともに、生徒からの相談に適切に応じてくれていると思う	3.2	3.2	3.2	3.2	86%	88%	91%	88%
15	学校は、学校・学年だよりや保健・図書だよりの発行を充実させ、PTAの会合でも、学校の取り組みを知らせていると思う	3.2	3.2	3.1	3.2	92%	92%	94%	93%

職員アンケート結果															令和4年12月						
質問番号	質問項目	教科別平均値										全教科平均値	全職員平均値	平均値÷4を%で表示	集計値					全体	
		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健	技家	英語	養護				A	B	C	D	計	肯定意見	否定意見
1	主体的・対話的で深い学びを重視した授業を展開するため、授業改善に取り組んでいる。	3.2	3.3	3.4	3.0	3.0	4.0	3.3	3.0	3.3	4.0	3.3	3.8	95.3%	30	7	0	0	37	100.0%	0.0%
2	授業において、記録・要約・説明・論述させる場面を増やすなど、言語活動の育成を図っている。	3.6	3.3	3.4	3.3	2.0	4.0	3.3	4.0	3.0	4.0	3.3	3.2	80.4%	11	23	3	0	37	91.9%	8.1%
3	授業においては、日々の授業での振り返りを活用して展開し、さらに、家庭学習の大切さも促し、生徒の学力の向上および、定着を図っている。	3.0	3.3	3.4	3.3	2.0	3.0	2.7	3.0	3.3	4.0	3.0	3.3	81.8%	12	23	2	0	37	94.6%	5.4%
4	教育活動全体を通して組織的に取り組み、授業規律を定着させ、基本的な生活習慣の確立を図っている。	3.2	3.0	3.4	3.7	3.0	4.0	3.3	3.0	3.5	4.0	3.4	3.5	87.8%	19	18	0	0	37	100.0%	0.0%
5	一人ひとりを大切にする教育を推進するにあたり、情報の共有をするとともに、関係機関との連携を含め迅速な対応を図っている。	3.4	3.3	3.3	3.3	3.0	3.0	3.3	3.0	3.3	3.0	3.2	3.5	88.5%	21	15	1	0	37	97.3%	2.7%
6	道徳教育の充実を図り、人権教育を推進し、豊かな心の育成を図っている。	3.2	3.3	3.4	3.7	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	4.0	3.2	3.3	83.1%	13	23	1	0	37	97.3%	2.7%
7	部活動をはじめ、達成感の得られる活動をさせるなど、向上心を高めさせるなかで、生徒の体力の向上を図っている。	3.4	3.3	3.4	3.3	4.0	3.0	3.0	4.0	3.0	4.0	3.4	3.4	85.8%	17	19	1	0	37	97.3%	2.7%
8	安全教育を充実するとともに、自他の生命を守る態度を養っている。	3.2	3.3	3.6	4.0	4.0	4.0	3.7	3.5	3.3	4.0	3.6	3.5	87.2%	18	19	0	0	37	100.0%	0.0%
9	活力ある生徒、思いやりの心を持つ生徒を育成するため、学校行事や生徒会活動、学級活動での取り組みを工夫している。	3.2	3.3	3.1	3.7	4.0	3.0	3.3	3.5	3.3	4.0	3.4	3.5	86.5%	17	20	0	0	37	100.0%	0.0%
10	授業公開、学校だより、学校ホームページ等を充実させ、教育活動の公開を積極的におこなっている。	3.2	3.6	3.6	3.3	3.0	4.0	3.7	3.5	3.3	4.0	3.5	3.3	82.4%	14	20	3	0	37	91.9%	8.1%

令和4年度 中央市立田富中学校 学校評価計画 2022.12.22

校訓 誠実		学校の教育目標 豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成									
1 目指す田富中の姿 意欲と信頼に満ちた学校 (1) 楽しく充実した学校 (2) 意欲と活力のある学校 (3) 環境・行為・音楽・心が美しい学校		2 目指す生徒の姿 (1) 思いやりのある生徒 (2) 自ら学ぶ生徒 (3) 体を鍛える生徒 (4) よく働く生徒									
3 目指す教職員の姿 (1) 生徒の健やかな成長を目指して、自らを高め、日々の教育活動に生かすことのできる教師 (2) 人権尊重の理念を理解し、生徒の心に寄り添う教師											
中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標	成果指標							
(1) 確かな学力の育成 「思考力・判断力・表現力」等を育むための授業改善	学びに向かう力、人間性等を涵養する。また、言語活動の確実な育成を図るとともに、学力の向上を図る。	主体的・対話的で深い学びを重視した授業を全教科で展開する。	4:80%以上の教科で実施 3:70%以上の教科で実施 2:50%以上の教科で実施 1:実施教科が50%未満	95.3% 4 4:生徒アンケート肯定意見80%以上 3:生徒アンケート肯定意見70%以上 2:生徒アンケート肯定意見50%以上 1:生徒アンケート肯定意見50%未満	97.8% 4						
		授業において、記録・要約・説明・論述する場面を増やし、言語活動の育成を図る。	4:80%以上の教科で実施 3:70%以上の教科で実施 2:50%以上の教科で実施 1:実施教科が50%未満	80.4% 4 4:生徒アンケート肯定意見80%以上 3:生徒アンケート肯定意見70%以上 2:生徒アンケート肯定意見50%以上 1:生徒アンケート肯定意見50%未満	91.0% 4						
		家庭学習の取組表を活用して授業を展開し、さらに、家庭学習の大切さも促し、生徒の学力の向上および、定着を図る。	4:80%以上の教科で実施 3:70%以上の教科で実施 2:50%以上の教科で実施 1:実施教科が50%未満	81.8% 4 4:保護者アンケート肯定意見80%以上 3:保護者アンケート肯定意見70%以上 2:保護者アンケート肯定意見50%以上 1:保護者アンケート肯定意見50%未満	93.3% 4						
(2) 豊かな心の育成 「いじめ・虐待・問題行動」のない学校づくり	基本的な生活習慣の確立とともに、いじめ・虐待の早期発見・早期対応、および、不登校の解消を推進する。また、道徳教育を推進させ、豊かな心を育む。	教育活動全体を通して組織的に取り組み、授業規律を定着させ、基本的な生活習慣の確立を図っている。	4:取組率80%以上 3:取組率70%以上 2:取組率50%以上 1:取組率50%未満	87.8% 4 4:生徒アンケート肯定意見80%以上 3:生徒アンケート肯定意見70%以上 2:生徒アンケート肯定意見50%以上 1:生徒アンケート肯定意見50%未満	95.8% 4						
		一人ひとりを大切にする教育を推進するにあたり、情報の共有をするとともに、関係機関との連携を含め迅速な対応を図る。	4:取組率80%以上 3:取組率70%以上 2:取組率50%以上 1:取組率50%未満	88.5% 4 4:保護者アンケート肯定意見80%以上 3:保護者アンケート肯定意見70%以上 2:保護者アンケート肯定意見50%以上 1:保護者アンケート肯定意見50%未満	88.5% 4						
		道徳教育の充実を図り、人権教育を推進し、豊かな心の育成を図る。	4:取組率80%以上 3:取組率70%以上 2:取組率50%以上 1:取組率50%未満	83.1% 4 4:生徒アンケート肯定意見80%以上 3:生徒アンケート肯定意見70%以上 2:生徒アンケート肯定意見50%以上 1:生徒アンケート肯定意見50%未満	93.0% 4						
(3) 健康と体力の育成 体力向上、安全に関する指導の取組	自ら運動を実践する態度を育成し、体力向上を図る。また、自他の生命を守る意識を高める。	部活動をはじめ、達成感の得られる活動をさせ、向上心を高めさせ、生徒の体力の向上を図る。	4:80%以上の教科で実施 3:70%以上の教科で実施 2:50%以上の教科で実施 1:実施教科が50%未満	85.8% 4 4:保護者アンケート肯定意見80%以上 3:保護者アンケート肯定意見70%以上 2:保護者アンケート肯定意見50%以上 1:保護者アンケート肯定意見50%未満	89.7% 4						
		安全教育を充実するとともに、自他の生命を守る態度を養う。	4:取組率80%以上 3:取組率70%以上 2:取組率50%以上 1:取組率50%未満	87.2% 4 4:生徒アンケート肯定意見80%以上 3:生徒アンケート肯定意見70%以上 2:生徒アンケート肯定意見50%以上 1:生徒アンケート肯定意見50%未満	92.5% 4						
		活力ある生徒、思いやりの心を持つ生徒を育成するため、学校行事や生徒会活動、学級活動での取り組みを工夫する。	4:取組率80%以上 3:取組率70%以上 2:取組率50%以上 1:取組率50%未満	86.5% 4 4:生徒アンケート肯定意見80%以上 3:生徒アンケート肯定意見70%以上 2:生徒アンケート肯定意見50%以上 1:生徒アンケート肯定意見50%未満	93.5% 4						
(4) 特色ある教育活動 信頼される学校づくりと活力ある生徒の育成	開かれた学校づくりを推進し、保護者・地域に根ざした教育活動を展開する。	授業公開、学校だより、ホームページの充実などにより、教育活動を積極的に公開する。	4:取組率80%以上 3:取組率70%以上 2:取組率50%以上 1:取組率50%未満	82.4% 4 4:保護者アンケート肯定意見80%以上 3:保護者アンケート肯定意見70%以上 2:保護者アンケート肯定意見50%以上 1:保護者アンケート肯定意見50%未満	92.6% 4						



## 第2回・第3回学校運営協議会から（委員の皆様のご意見）

### 【今年度の取り組みについて】

- ・生徒達の教育活動の様子は、毎月発行されている学校通信を通して把握できる。よくやっている。
- ・コロナ禍において、様々な対応や配慮が強く要求される中、生徒達の成長を保証・促進させるべく多大な努力や苦勞に感謝する。
- ・ほとんどの項目で評価が高い。今年度の取り組みを継続・発展して欲しい。
- ・生徒達のために、年2回のアンケートの実施をしていただいてありがたい。特に2回目アンケートを12月に実施し、3学期と次年度のためにという考えは今後も持ち続けて欲しい。

### 【今年度のまとめ、来年度に向けて】

- ・学年に応じたキャリア教育の充実、「キャリアパスポート」の活用から「キャリア教育」の項目の肯定率がアップした。取り組みの成果が出たのではないかと。
- ・第2回学校運営協議会での話し合いが学校経営に活かされている。
- ・教科ごとに指導主事経験者を招聘して授業づくりに取り組んだことは素晴らしい。特に、1学期中に実施したことで今年度の子どものためになっている。継続して欲しい。
- ・「主体的・対話的で深い学び」に迫る様々な取り組みや授業づくりが、生徒一人一人の学力向上につながっている。「振り返り」の充実や「家庭学習取組表」の有効活用について更に努力して欲しいと思う。
- ・精神科認定看護師から先生方が学ぶ会をもつなど、学校外の考えを反映していることは素晴らしい。私も参加してみたい。

### 【来年度の学校経営方針の承認について】

- ・3つの柱への取り組み、特に「学力向上・家庭学習の習慣化」と「学級集団づくりの充実」を意識した来年度の学校経営方針は、明確で素晴らしいと思う。授業や学校行事を通して生徒達の学びと、校内研究を通しての教師達の学びを継続させて欲しい。
- ・今年度のように年2回、アンケート実施し、「現状把握し課題をみつけ改善し取り組む」というスタイルは継続して欲しい。
- ・県や市の方針を受けた学校経営方針になっている。提案の通りで承認する。
- ・私も学校経営方針の大きな柱は継続すべきだと考える。校長が話したように長年の取り組みを充実させたことで、成果があがりはじめている。私も小学校の学校経営に携わっているが、小中で連携しながら大切な部分は共有して取り組んでいきたい。

### 【その他の意見】

- ・保護者のアンケートへの回答率が低い。回答していない家庭が不満を感じている可能性がある。  
→今年度、フォームで回答をお願いした。何度もメールでお願いしたが、未回答の家庭には三者懇談等の機会に回答を依頼する必要があった。来年度は回答率をあげる取り組みをしていきたい。
- ・校則が厳しすぎないか。特に、防寒着のフードについては許可している学校もあるのではないかと。  
→校則については長い年月の中で生徒の状況を把握しながら決定してきた経緯がある。したがって、ここ数年は変更していない。靴の色や制服の移行期間など、他校より緩い校則もある。フードについては過去にきまりが曖昧になってしまった時期にフードをかぶり視界が狭くなってしまったため交通事故が2件発生した。ファッションなのか防寒なのかという議論も大切かもしれないが、やはり安全面を優先したい。通常の防寒着とマフラー等で対応していただきたい。
- ・朝読書の取り組みから成果をあげているということで素晴らしいが、ディスレクシアの生徒がいたらどうするのか。  
→今後、そういった生徒がでてきたら、状況を把握しながら対応していきたい。
- ・ヤングケアラーについても注視して欲しい。  
→学校だけで解決できる問題ではないが、軽視できない問題である。行政と連携しながら対応していきたい。
- ・目指す生徒像に「思いやりのある生徒」とあるが「思いやり」より「実際に寄付できる」とか行動面のほうが大切ではないか。  
→本校の学校教育目標は「豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成」である。また、研究テーマは

「気づき・考え・行動する」である。行動の原点は「思い」であると考えている。ご意見を参考に「思い（思いやり）」を行動に移せる（実践できる）ように指導していきたい。

- ・私の姉が琴の指導にきた。1年生が高いハードルも越えていこうとしていたとほめていた。また、今日の授業参観では3年生の授業をみて、3年生が素晴らしいと感じたが、それ以上に先生方の授業力が高くなっていると感じた。2年生は期末テストで参観できなかったが掲示物から取り組みの様子が伺うことができた。素晴らしいと思った。  
→ありがとうございます。学校外の方から評価されると、生徒・教職員とも嬉しく、意欲につながる。更に高めることができるよう努めていきます。

多くのご意見ありがとうございました。情報化社会におかれた生徒の環境やヤングケアラー等の課題に目を向け、来年度の教育活動を推進していく所存です。今後ともよろしく願いいたします。